国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

同時発表：国土交通本省

令和７年８月21日
東北地方整備局

「震災伝承施設」深化の会が開催されます
～東日本大震災の伝承活動による災害の自分事化に向けて～

NIPPON 防災資産に優良認定されている「３.11 伝承ロード」の活動として**「震災伝承施設」深化の会が開催されます**。
首都圏直下型地震や南海トラフ地震への備えが問われる中、災害リスクを自分事として捉え、日頃の災害への備えやいざという時の避難行動を改めて考えていただく機会となるよう、東日本大震災の教訓と災害伝承の取組み紹介を行います。

NIPPON 防災資産のロゴマーク

１．「震災伝承施設」深化の会

１）日　時　　令和７年８月30日（土）13時00分～15時30分
（開場時間：12時30分）

２）場　所　　国営東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」
２階レクチャールーム（東京都江東区有明３丁目８番35号）
※オンライン併用

３）主　催　　一般財団法人　３.11 伝承ロード推進機構

４）共　催　　国土交通省東北地方整備局、岩手県、宮城県、福島県

５）内　容　　東日本大震災における伝承活動報告
① いのちをつなぐ未来館（岩手県釜石市）
② 東日本大震災津波伝承館（岩手県陸前高田市）
③ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）
④ いわき震災伝承みらい館（福島県いわき市）

６）参　加　　会場参加者は定員100名です。オンライン参加に定員はございません。
参加を希望される方は「別紙①開催チラシ」をご確認の上、お申込みください。

２．取材について

１）「震災伝承施設」深化の会は公開で行います。
現地での撮影・取材を希望される報道関係者の方は、８月27日（水）17時までに、「別紙②取材申込書」をご確認の上、電子メールにて必ずお申込みください。

２）取材に際しては、現地担当者の指示に従ってください。

３）当日は下記のお時間までに、「そなエリア東京」２階学習施設の報道受付までお越しください。

４）駐車場の用意はありませんのでご了承ください。

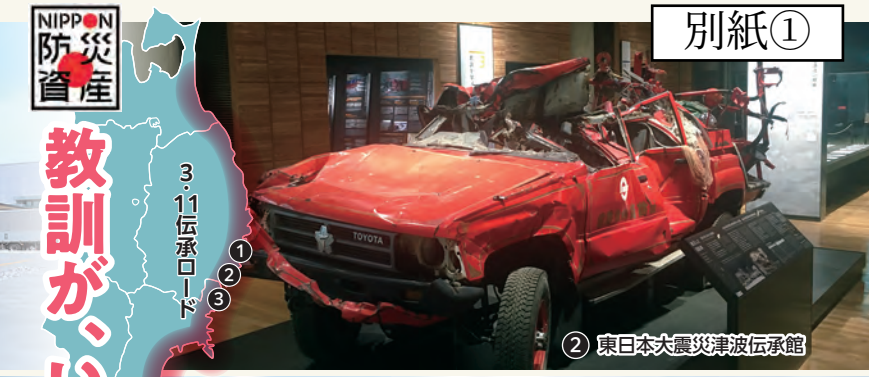

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

＜問合せ先＞
国土交通省　東北地方整備局　企画部　震災伝承推進官　熱海（内線3119）
企画課課長補佐　山内（内線3158）
TEL:022-225-2171（代表）

別紙①









3.11 DENSHO ROAD

「震災伝承施設」深化の会

～伝承活動による災害の自分事化に向けて～

参加無料

近年、自然災害が激甚化・頻発化する中で、「いのちを守る」行動を促す災害の自分事化が喫緊の課題となっており、災害伝承の役割はますます高くなるとともに、震災の記憶や教訓を伝える震災伝承施設の期待も従前にも増して大きくなっています。

このような背景を踏まえて、内閣府と国土交通省では地域において災害やその教訓をわかりやすく伝える活動を「NIPPON防災資産」と認定する制度を創設し、第1回認定がなされ「3.11伝承ロード」が優良認定の一つとして選定されました。

この度の「優良認定」を機に、災害の自分事化に貢献する、より深く高みを目指した伝承活動となる、震災伝承施設の本気の伝承活動を紹介する『「震災伝承施設」深化の会』を開催することとしました。

首都圏初開催!!

日時 令和７年 **8月30日（土）** 13:00～15:30

会場 東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」２Ｆ／レクチャールーム

オンライン同時配信

Google Map

参加申込み方法は裏面をご覧下さい

プログラム PROGRAM

開　会 13:00

■主催者挨拶

■来賓挨拶

活動報告 13:15

東日本大震災における伝承活動報告４施設

❶ **いのちをつなぐ未来館**（岩手県釜石市）
❷ **東日本大震災津波伝承館**（岩手県陸前高田市）
❸ **気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館**（宮城県気仙沼市）
❹ **いわき震災伝承みらい館**（福島県いわき市）

■進　行：東北大学災害科学国際研究所 准教授 …… 佐藤 翔輔 氏

■質問者：●全国地方新聞社連合会 副会長（岩手日報社 取締役執行役員東京支社長）…… 菅原 智広 氏

●東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 くらしづくり・地方創生部門 観光・地域活性化ユニット マネージャー… 引地 美香 氏

閉　会 15:30

主催 （一財）3.11伝承ロード推進機構　共催 国土交通省 東北地方整備局　岩手県　宮城県　福島県　後援 （一財）国土技術研究センター

問 TEL.022-393-4261　FAX.022-393-4271　（一財）3.11伝承ロード推進機構　〒980-0014　宮城県仙台市青葉区本町3-2-26　コンヤスビル3階

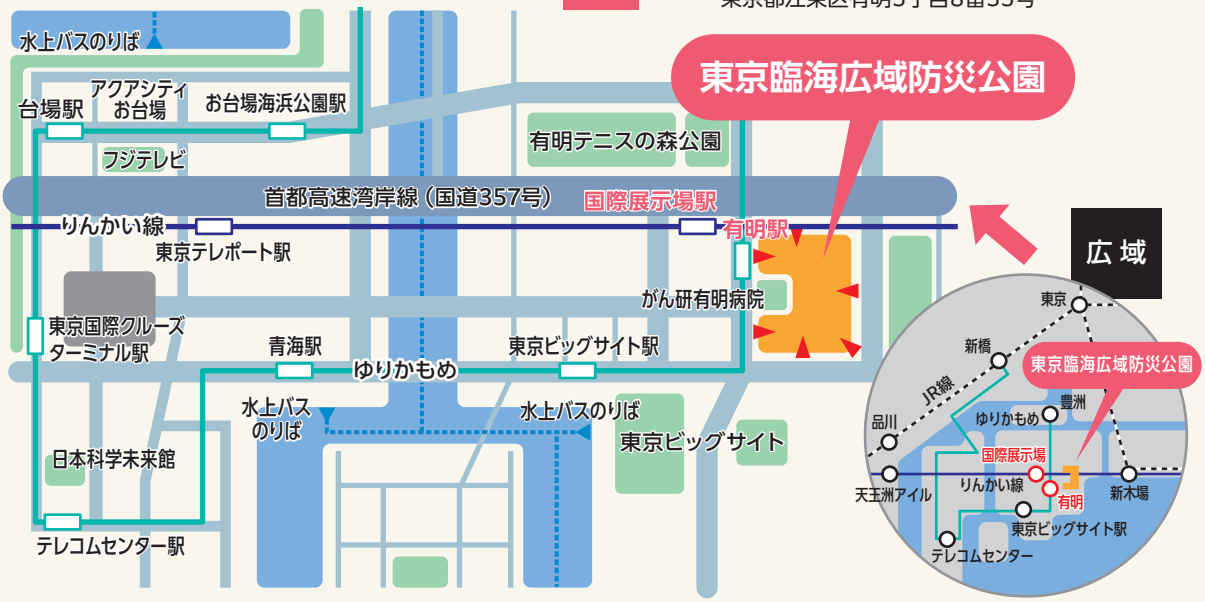
「震災伝承施設」深化の会

～伝承活動による災害の自分事化に向けて～

会場のご案内

会場 国営東京臨海広域防災公園

東京都江東区有明3丁目8番35号



【電車】東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場」駅より　徒歩4分
ゆりかもめ東京臨海新交通臨海線「有明」駅より　徒歩2分

【バス】● 都バス 門19甲系統「がん研有明病院前」停留所より　徒歩2分
● 都バス 東16系統「有明二丁目前」停留所より　徒歩7分

申込み方法

【Googleフォームよる方法】

右記二次元コードよりアクセスの上、①氏名、②所属、③役職、④参加形態（会場参加 または オンライン参加）、⑤E-mail、⑥電話番号をご記入ください。

◆ 申込〆切 …… 8月 25日 (月) 17:00 ◆

※但し、会場参加は定員（100名）に達しましたら申込を締め切らせていただきます。

災害を「自分事」としてとらえるために

近年、首都圏直下型地震や南海トラフ地震への備えが問われる中、私たち一人ひとりが「災害を自分事としてとらえる力」を育むことが、命を守る第一歩となっています。

東日本大震災の被災地では、地域ごとに異なる被災の実態と向き合いながら、命を守る教訓を今に伝える「震災伝承施設®」が活動を続けています。

そうした施設の実践を紹介し、災害伝承の価値を深めていく場として、本イベント『「震災伝承施設」深化の会』を東京にて開催します。

「防災の意識を高めたいけど、何から始めたらいいかわからない」

「東日本大震災から学ぶべきことを、もう一度考えたい」

そんなあなたにこそ、ぜひ足を運んでほしい時間です。

【施設紹介】



いのちをつなぐ未来館

楽しく学べる体験型プログラムを通じて、震災の教訓を伝え、命を守る力を育んでいます。



東日本大震災津波伝承館

東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指します。



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

被災校舎の遺構と中高生も参加する語り部活動を通じて、災害を「自分事」として考える力を養っています。



いわき震災伝承みらい館

津波被災地に立地し、パネルや映像、被災した現物資料の展示や語り部講話などを通じて、震災の記憶や教訓を伝えています。

別紙②

「震災伝承施設」深化の会
取材申込書

１．　貴社名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．　取材者人数　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿名＿＿＿＿＿＿

（ふりがな）

３．　氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４．　代表者の連絡先　　携帯電話　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※当日に連絡がとれる番号を記入願います。

メールアドレス　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

○申込み先　　E-mail：info@311densho.or.jp

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。